

家畜保健衛生だより

平成27年度 第5号



国内であひる肝炎の発生がありました



今年8月、53年ぶりに国内であひる肝炎が発生しました。

発生場所：兵庫県

発生概要：4日齢で導入したあひるヒナが、導入2日後から発育不良・うずくまり・起立不能等の症状を呈し、頸を反らせるようにして急性経過で死亡。分離されたウイルスの確定検査の結果、あひる肝炎型ウイルスと同定される。

あひる肝炎とは（届出伝染病に指定）

原因：あひる肝炎ウイルス（ 、 型がある）

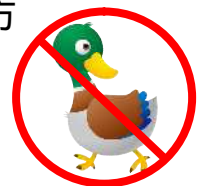
症状：4週齢未満のヒナのみ発症。感染ヒナは群れの動きに遅れ始め、その後うずくまり、横臥し、けいれんをおこして死亡。

型の死亡率は、1週齢未満の感染では95%に及ぶ。

主に接触・経口感染で伝播。

発生状況：国内では1962年から1963年にかけて関東地方で発生。海外では世界各国で発生。

予防法：飼養環境を整備し、野生のカモとの接触をさけるため4～5週齢までは隔離飼育が望ましい。



飼養衛生管理基準遵守のお願い

伝染病の予防には日頃の飼養衛生管理が重要です。特に以下の点に注意し伝染病の侵入を防止しましょう。

- ✓あひる舎に出入りする場合は手指・靴の消毒を実施しましょう。
- ✓あひる舎に防鳥ネット等を設置するとともに屋根や壁面、防鳥ネットの破損の有無を点検し、必要があれば速やかに修繕しましょう。
- ✓給餌・給水設備や飼料保管場所への、野鳥やネズミ等野生動物の排泄物の混入を防止しましょう。
- ✓あひる舎等の清掃・消毒を定期的に行いましょう。

異状が見られた場合には、直ちに家畜保健衛生所までご連絡ください。

神奈川県湘南家畜保健衛生所

〒259-1215 平塚市寺田縄 345

TEL：0463-58-0152 FAX：0463-58-5679

